



【問い】お口の中の細菌が原因で肺炎が起ると聞いたのですが、本当でしょうか。また、予防法はあるのでしょうか。

(五島市、73歳男性)

【答え】日本の死因別死亡率で、肺炎は4位になっています。肺炎による死者の年齢を見ると、65歳以上の高齢者が全体の約9割を占めていて、高齢になるほど肺炎による死亡率が増

加する傾向にあります。

高齢者が肺炎で死亡する原因の一つに、口の中の細菌が肺の中に入ってしまうことよって起きる誤嚥(ごえん)性肺炎があります。

## 口中の細菌と肺炎

す。誤嚥性肺炎は本来、食道に入っていくべき食物などが誤って気管に入ってしまうことによることです。細菌に汚染された唾液が気管に入ってしまうこともあります。歯が一本も残っていない

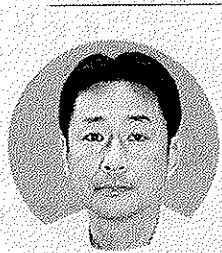
を要する人は口腔ケアが十分な場合が多く、介護者が日常的にサポートすることが必要です。

次に挙げる項目に心当たりがあれば、誤嚥性肺炎のリスクが高いと思われるので、かかりつけの歯科医院に相談してください。

## ケアで発生率40%減少

す。高齢者のかかる肺炎は誤嚥性肺炎が多いとみられています。口腔ケアを実施した人と実施しなかった人を比べると、肺炎の発生率を約40%減少させたとの報告もあり

ます。高齢者の中でも介護



回答者 江頭 聡  
西彼津町浦郷 歯科医院院長

- ◎うまくかめない
- ◎歯肉が赤く腫れている
- ◎口臭がある
- ◎歯がないのに入れ歯を入れていない
- ◎時々、ムセがある
- ◎口の中が濁(かわ)く
- ◎起床時に口の中がネバネバする
- ◎舌が白くなっている

### 質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します(直接本人に回答はしません)。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページ (<http://www.nda.or.jp/>) も参考にしてください。